

2024年2月25日

ウクライナとの連帯に係る貿易大臣の共同声明

(仮訳)

我々、以下に署名したWTO加盟国の貿易大臣/代表団長は、ウクライナの人々に対する我々の全面的支援と連帯を改めて表明するため、第13回WTO閣僚会議の場において、本日アブダビで会合を開いた。我々は、3年目も継続している国連憲章を含む国際法の重大な違反であるロシアのウクライナに対する侵略戦争によって引き起こされた甚大な人的損失及び重大な深い苦難に深い悲しみを表明する。その際に、我々は、国連総会第11回緊急特別会合で採択された2022年3月2日の国連総会決議(A/RES/ES-11/1)及び他の全ての決議に対する全面的な支持を改めて表明する。

我々は、ウクライナの主権、独立及び領土一体性のための戦いへのコミットメントを再確認し、ロシアに対し、ウクライナの国際的に認められた国境内のウクライナ領土から全ての軍隊を即時、完全かつ無条件で撤退させるよう求める。

ロシアのウクライナに対する侵略戦争は、ウクライナの経済や貿易能力を含め、世界及び地域に甚大な影響を及ぼし続けている。ウクライナの交通機関、港湾インフラ及び穀物貯蔵施設の大部分の破壊並びに農耕地への地雷敷設は、ウクライナの正常な生産、輸出、及び輸入の能力に支障をきたしている。我々は、この破壊がウクライナ及び世界貿易に及ぼす影響、特に農産物・食料品、肥料、重要鉱物等、ウクライナが生産する多くの主要商品の国際市場への供給に関して、深刻に懸念している。我々はまた、ロシアによってウクライナから穀物が略奪されているという多くの報告を深く懸念している。これらの行為はWTOの原則と価値観に反する。

ウクライナは、小麦、トウモロコシ、大麦、ヒマワリ油等の主要農産物の世界有数の輸出国の一つである。我々は、ロシアの侵略戦争にかかわらず、世界の最も脆弱な地域、特に発展途上国への食料安全保障及び食料供給を確保するというウクライナの決意を認識する。この観点から、「Grain from Ukraine (ウクライナからの穀物)」イニシアティブは飢餓への対応を支援する重要なツールであり続けている。ロシアは食料を武器化し、また、海上封鎖により世界の最も脆弱な人々を攻撃している。我々は、その黒海回廊から世界市場に向けて穀物輸出を再開したウクライナの功績を賞賛し、また、2022年5月以降、ウクライナから国際市場に対し約6,700万トンの穀物を輸出してきたEU連帯レーンの設置を歓迎する。これは全ての国、特に最も支援を必要としている国に利益をもたらすものである。この文脈で、黒海とアゾフ海における自由、完全かつ安全な航行を確保し、海路や港が武力による威嚇や武力行使によって脅かされたり封鎖されたりしないようにする必要がある。

ロシアのウクライナに対する侵略戦争はまた、深刻な環境被害をウクライナにもたらし、前例のない汚染と地域生態系の破壊をもたらした。

我々は、国連憲章の原則に基づき、ウクライナの主権と領土一体性を完全に尊重し、ウクライナにおける包括的、公正かつ永続的な平和を可能な限り早期に達成する必要性を強調する。我々は、ゼレンスキー大統領が提示した原則である10項目の平和フォーミュラを含む、平和の実現を目指すウクライナの努力を歓迎する。我々は、ロシアが、人道的、経済的、環境的損害を含む損害の賠償を含め、その全ての国際違法行為によって引き起こされた結果に対する法的帰結の責任を負わなければならないことを改めて表明する。

我々は、世界中の食料安全保障の利益のため、ウクライナを支援し、その輸出とサプライチェーンを促進するための取組を継続する。我々は、全てのWTO加盟国に対し、インフラの利用促進や税関手続きの円滑化及び簡素化等、その能力に見合った方法で同様のことを行うよう奨励する。各WTO加盟国の能力の範囲内で、我々はウクライナの人々の苦しみを軽減するためにウクライナへの支援を継続する。我々はまた、ロシアの侵略戦争の悪影響を克服するためのウクライナの復興努力、諸活動、プロジェクトを支援し、援助するための実際的な方法を模索する。

アルバニア、豪州、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、カナダ、コスタリカ、クロアチア、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エクアドル、エストニア、欧州連合、フィンランド、フランス、ジョージア、ドイツ、ギリシャ、アイルランド、アイスランド、イタリア、日本、大韓民国、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、モンテネグロ、オランダ、ニュージーランド、北マケドニア、モルドバ共和国、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、台湾・澎湖諸島・金門・馬祖独立関税地域、スイス、英国、ウクライナ、米国